

## 事業③

支援体制を整備する

- 活用を検討する**行政ほか地域主体への支援体制を整備**  
→ 道内・道外の**ネットワークを構築するほか、Slack運用により相談対応力を強化**

## ネットワークの構築

✔ ナッジ、デザイン思考に取り組む各研究会に参画、有識者や実践者と関係を構築。




✔ 情報共有ツール“Slack”を利用し、道庁内関係者に留まらず、市町村職員や民間なども包括したネットワークを形成



イメージ



## 事業③【実績、総括】支援体制を整備する

-  **NPO法人Policy Garage研究会**（毎月第2水曜日に開催）  
⇒ ナッジ、デザイン思考等に取り組む省庁職員、全国の自治体職員と交流。  
また、**12月研究会ではHoBiTの活動内容を発信し、ネットワークを強化。**
  
-  **全国自治体ナッジユニットゼミ**（毎月第1、3、4月曜日に開催）  
⇒ ゼミにて、「エゾシカの交通事故対策」、「飲酒運転違反者への保健指導促進」の**検討事例を議論**するなど、全国の関係者との**実践的な相談体制を強化。**
  
-  **チームコミュニケーションツール“Slack”**  
⇒ ナッジセミナー等のイベントを契機に、庁内職員や道内自治体職員等に参加を呼び掛けた結果、R3.3時点におけるSlack参加者は52人まで増加。

# 目次

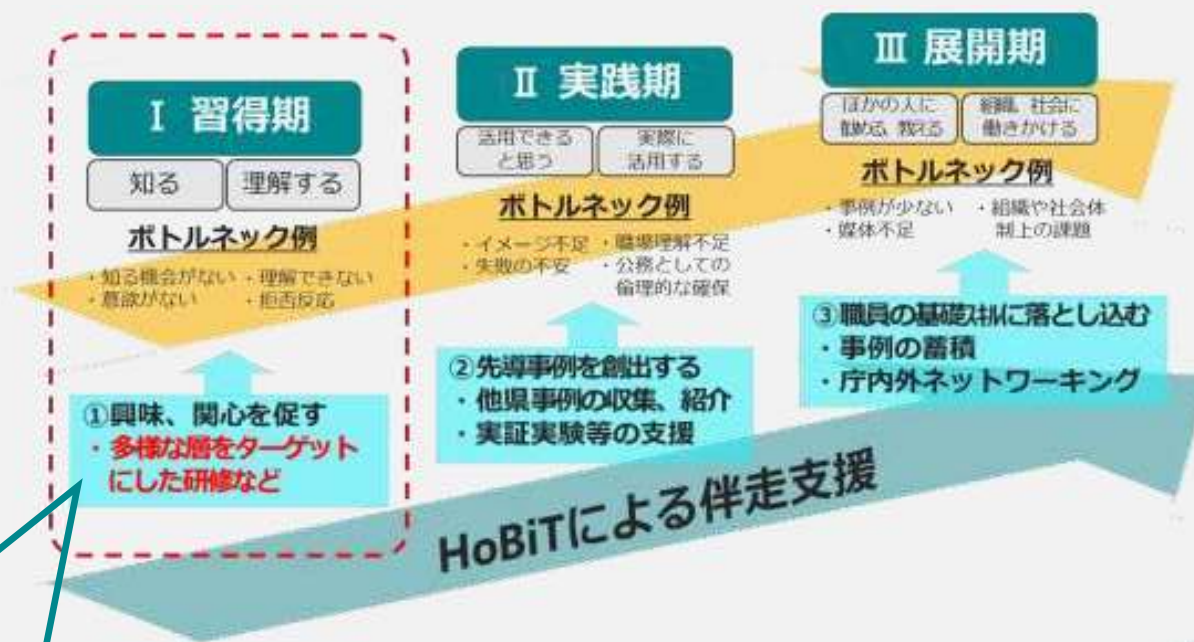
概要説明 (ナツジとデザイン思考)

事業趣旨及び内容

事業実績

▶ 道政への適用に向けて

☑ 「ナッジとデザイン思考」の興味、関心を促すための情報発信やイベントを実施してきたが、更なる普及、展開のためには、これまでのイベント等に加え、**職員研修等**の実施が有効。



普及、展開イメージ図

興味、関心を促すターゲットの人物像  
(1) 興味のある職員 (能動的に参加)  
(2) 興味のない職員 (自ら参加しない)

(1) は、これまでのイベント等で対応可能。  
(2) は、**職員研修等をデフォルト化**することで対応可能。

- ☑ 総務部人事課と協議のうえ、職員研修（階層別研修）のうち、**「新任主任級研修」にてナッジとデザイン思考の研修**を行うことで調整。

**新任主任級**  
～コミュニケーション力を高め、キャリアをデザインする～

**目標** 組織を支える中堅職員として、これからのキャリアを考え、より主体的・積極的に行動できるよう必要な知識やスキルを修得する。

**ポイント** キャリアデザインの必要性と手法を学び、立場に応じた能力向上の意識を高めるとともに、中堅職員に求められるスキルやコミュニケーション能力の向上を図ります。

**対象者** 新任の主任級職員 ※新任課長職員（次年度受講）

**日程** 2日間、全5回（サテライト開催）

第1回	5月17日（火）～5月18日（水）	本庁、石狩、日高、宗谷、釧路
第2回	5月22日（月）～5月24日（火）	本庁、石狩、上川、十勝
第3回	6月5日（月）～6月7日（火）	本庁、石狩、釧路、渡島、檜山
第4回	6月12日（月）～6月14日（火）	本庁、石狩、オホ、根室
第5回	6月20日（水）～6月22日（金）	本庁、石狩、空知、美幌、上

**標準日程**

10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
2							

**講師** 【生産性を高める業務改善法等】 Seiji Chojo 代表 部長 第2  
【その他】 内務（行政）講師

**(案)**

**研修名：行動デザイン・ナッジ理論**  
**時間：50分**  
**講師：北海道行動デザインチーム（HoBiT）**

**職員研修の実践により、ナッジとデザイン思考の普及、そして道政への適用に向けた足掛かりとする。**

厳しい財政や複雑な地域課題に直面する中で、質の高い行政サービスを展開していくには、根拠に基づきながら、等身大の人間の行動を想定した、真に効果のある政策立案とその実践が求められます。

ナッジに代表される行動デザインは、人の普遍的な行動特性を対象とするため、人がそこに介在さえしていれば、あらゆる政策分野に適用可能で、政策手法としても幅広い応用性・補完性を有していることから、我々が目指す真に効果のある政策の実現に向けて、極めて有効なツールの一つだと考えられます。

また、デザイン思考は、ナッジをはじめとした政策手法の効果を最大限発揮するための、政策立案における基本的な考え方と言えます。厳しい財政や複雑な地域課題に直面している行政だからこそ、「ユーザー（住民）目線」を軸としたデザイン思考が求められています。

ナッジ、そして、デザイン思考。この両輪が生み出す好循環を、多くの道内主体に普及展開し、優れた道政の実践に繋げるべく、引き続きチーム一同、活動してまいります。ご一読、誠にありがとうございました。

## ○ 有志メンバーとして事業を支えてくださった方々

福田 佳英 働き方改革推進室長（道経済部労働政策局雇用労政課）／山本 勝博 総括主査兼航空係長（道総合政策部航空局航空課）／宇山 生朗 氏（道環境生活部ゼロカーボン推進局ゼロカーボン戦略課／北海道環境財団）

## ○ 各事業に賛同し、専門家や実践者として知恵を惜しみなく提供してくださった方々

**事業①** 佐々木 周作 准教授（東北学院大学）／米一 彰夫 代表運営委員（北海道自治体学会）／安田 あきの 事務局長（北海道自治体学会）／吉田 博 運営委員（北海道自治体学会）／奥寺 大介 氏（金融庁総合政策局総合政策課）／空知総合振興局保健環境部保健行政室（北海道岩見沢保健所）生活衛生課

### **事業②** 【事例1 エゾシカの交通事故対策】

佐々木 周作 准教授（東北学院大学）／久保 雄広 主任研究員（国立環境研究所）／山本翔平 特任講師（一橋ビジネススクール）／Oyuri（ナッキングデザイナー）／原文宏 理事（一般社団法人北海道開発技術センター）／山崎秀次 事務局長（釧根地区レンタカー協会）／国土交通省北海道開発局／一般社団法人北海道開発技術センター／株式会社トヨタレンタリース釧路／タイムズモビリティ株式会社／ニッポンレンタカー北海道株式会社／株式会社日産カーレンタルソリューション／オリックス自動車株式会社

### 【事例2 道職員の石けん手洗い促進】

大沼 進 教授（北海道大学）／道新型コロナウイルス感染症対策本部指揮室

### 【事例3 大学構内における食ロス対策】

安倍 隆 会長（えべつ地球温暖化対策協議会）／岡崎 朱美 副会長（えべつ地球温暖化対策協議会）／安田 光孝 教授（北海道情報大学）／杉澤 愛美 講師（北海道情報大学）／糸井川 高穂 助教（宇都宮大学）／植竹 香織 代表（Policy Nudge Design）／鈴木 昭徳 本部長補佐（SDGs推進担当）（生活協同組合コープさっぽろ）／渡邊 大介 エコチームリーダー（(株)アレフ）／道農政部食の安全推進局食品政策課

### 【事例4 飲酒運転検挙者への保健指導促進】

環境生活部総務課／環境生活部くらし安全局道民生活課／保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

### 【事例5 高齢者のワクチン接種行動の促進（VALUE Project）】

小池 智子 准教授（慶應義塾大学）／葛城 建史 講師（北里大学）

**事業③** 津田 広和 代表理事（NPO法人Policy Garage）／志水 新 理事（NPO法人Policy Garage）／高橋 勇太 代表（横浜市行動デザインチーム）／安藤 如照 氏（岡山県版ナッジ・ユニット）／植竹 香織 代表（Policy Nudge Design）／NPO法人Policy Garage

## ○ 職員の熱意による活動を快くサポートしてくださった方々

鈴木 直道 知事（北海道）／小玉 俊宏 副知事（北海道）／森 隆司 部長（道環境生活部）／濱坂 真一 部長（道総合政策部）／今井 太志 ゼロカーボン推進監（道環境生活部）／和田 弘之 次長兼政策局企画担当局長（道総合政策部）／中村 昌彦 局長（道総合政策部政策局）／山田 哲史 局長（道環境生活部ゼロカーボン推進局）／道総合政策部政策局／道総務部人事局人事課





北海道行動デザインチーム

Hokkaido Behavioral insight Team